



Italian Living Innovation

(伊)デロンギ社製

デロンギ エコ除湿機

型式番号:DE250ECO

取扱説明書

この度は、デロンギエコ除湿機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。



Made in China



デロンギ エコ除湿機は、地球のオゾン層の破壊や地球温暖化を促進するフロンおよび代替フロンを一切使用していません。

もくじ

・安全上のご注意	1～3
・エコ除湿機の冷媒について	3
・各部の名称とはたらき	4
・操作パネルのはたらき	5
・ディスプレイについて	6
・ご使用になる前に	6
・操作手順	7～9
・タイマーの使い方	10
・排水のしかた	11
・故障かな?	11
・お手入れ／保管のしかた	12～13
・デロンギ・エコカバーの使い方	13
・真心点検について	14
・アフターサービス	14
・仕様	裏表紙

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の二つに分け、明示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：アース線の接続



：電源プラグをコンセントから抜く

電源について

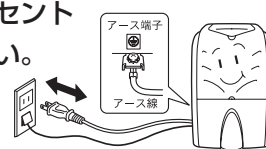
警告

- 電源は、家庭用交流 100V／50/60Hz をご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントからお取りください。

15A 125V



- 万一の漏電防止のため、アース線を取り付けてください。
- アース線の取り付け／取り外しの際は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



コンセントについて

警告

- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、使用しないでください。
- 取付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは絶対に使用しないでください。

電源プラグ／電源コードについて

警告

- プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。
- プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードは余っても束ねないでください。

- 使用中、電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サービスセンター（14 ページ）にご連絡ください。
- 電源コードは、大切に扱ってください。傷付いたり破損した場合は使用せず、弊社サービスセンター（14 ページ）に修理／交換を依頼してください。

本体の移動について

警告

- 輸送された後は、運転させる前に必ず 1 時間以上 おいてください。
- 転居のとき等は、横積みにして輸送しないでください。

圧縮機（内部コンプレッサー）の故障の原因となります。

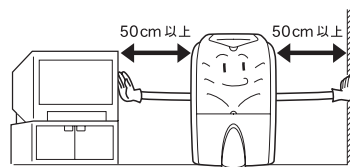
- 本体を移動させるときは、傾けたり、ひっくり返したりしないでください。
- 取っ手をもって持ち上げるかキャスター（全 4 輪）を床につけ、ゆっくりと移動させてください。

使用場所について

警告

- 必ず 2 畳半（4 m²）以上の空間で、使用してください。
- ガス機器やヒーター等の近くでは、絶対に使用しないでください（万一、冷媒のガスが漏れた場合、狭い場所では発火する危険性があります）。
- アルコール等の引火性のあるものやスプレー缶からは 50cm 以上離して使用してください。

- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。
- 床が濡れている場所では使用しないでください。
- 吸込口や送風口の周囲は、50cm 以上空けてください。



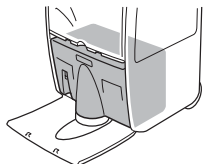
使用上の注意

注意

- 吸込口および送風口に異物を入れたり、ふさがないようにください。



- 使用の際は、必ずタンクを所定の場所に正しくセットしてください。



- 本体および操作パネルに、水をかけないでください。



- 本体の上に乗ったり寄りかからないでください。特に、小さなお子様には、ご注意ください。



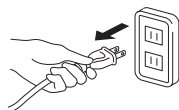
- 万一、異常が発生した場合（冷媒漏れ以外）は、ただちに電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ）にご相談ください。

- 本体を移動させる場合は、常にタンクを空にする、またはタンクを外して本体をたてにした状態で運んでください。
- フィルターを抜いた状態で作動させないでください。

お手入れについて

警告

- お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 金たわし、ベンジン、クレンザー、シンナーなどは使用しないでください。

各部品が傷つく恐れがあります。

- 改造や分解、修理をしないでください。

感電やけがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ）までご相談ください。

- 一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨ててください。

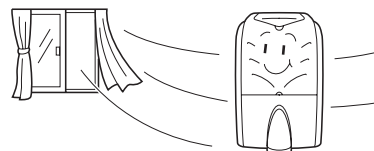
収納／保管について

警告

- 絶対に通気性の悪いカバー（プラスチック製など）をしないでください。万一、冷媒のガスが漏れた場合、カバーに溜まる可能性があります。



- 押し入れや物置などの密閉した場所に保管しないでください。



冷媒について

警告

- 本体をネジ等の鋭利なもので傷つけないでください。可燃性冷媒を使用しているため、傷により冷媒が漏れると、発火・爆発の原因となります。
- 万一誤って冷却回路を傷つけて冷媒が漏れ出してしまった場合は火気や電気製品などの使用を避け、窓を開けて換気してください。その後お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ）へご連絡ください。電源プラグの抜き差しはしないでください。火花で引火・爆発の原因になります。



- 廃棄処分するときは弊社サービスセンターあるいは市町村にご連絡ください。市町村自治体にて廃棄される場合は可燃性冷媒を使用している旨を必ずご連絡ください。冷媒が漏れると発火・爆発の原因となります。弊社サービスセンターにお送りいただければ素材ごとに分別し、再資源化いたします（13 ページ）。



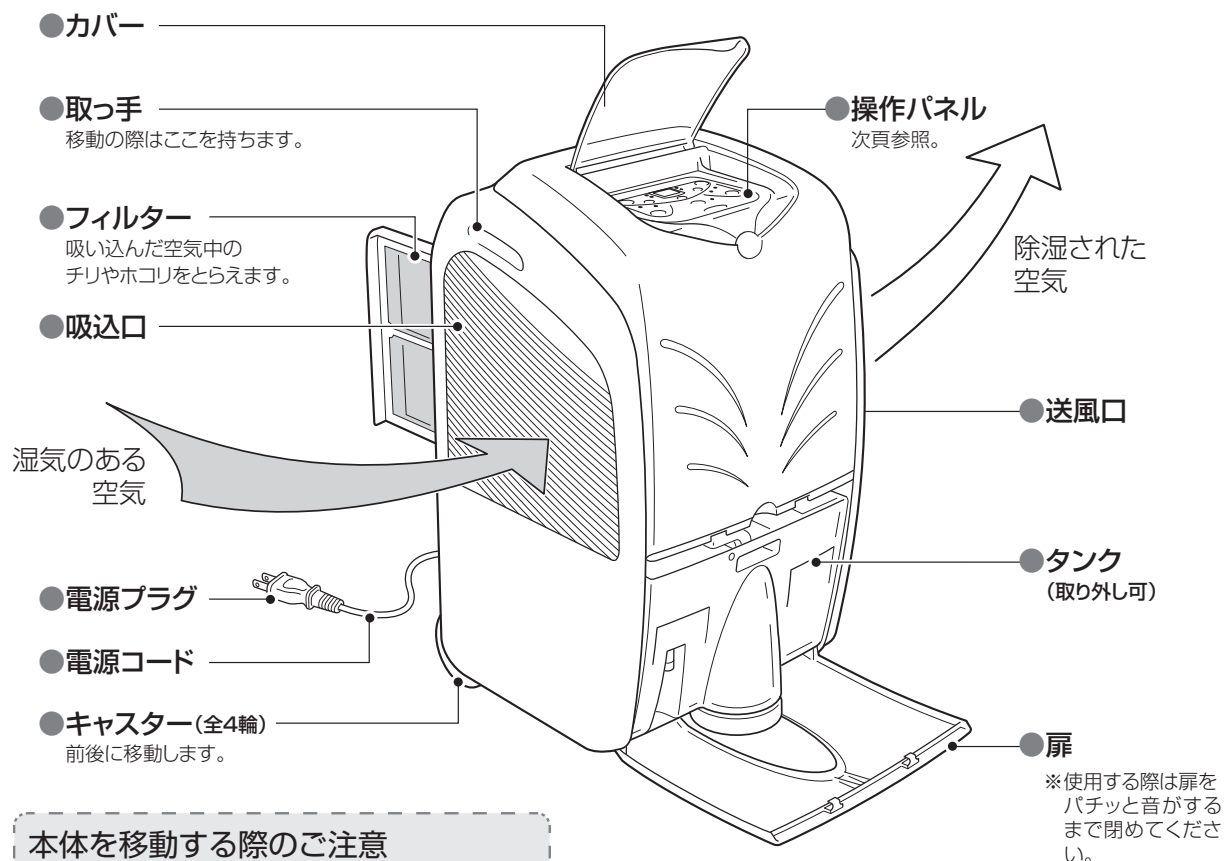
エコ除湿機の冷媒について

- ・本機は、地球温暖化に影響が極めて少ない自然冷媒（プロパンガス）を使用しています。
- ・本機の冷媒であるプロパンガスは可燃性です。冷媒は冷媒回路に密封されており、通常の使用において漏れ出すことはございませんが、万一冷媒回路を傷つけてしまった場合には、火気、電気製品の使用を避け、窓をあけて換気してください。

その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ）にご連絡ください。

各部の名称とはたらき

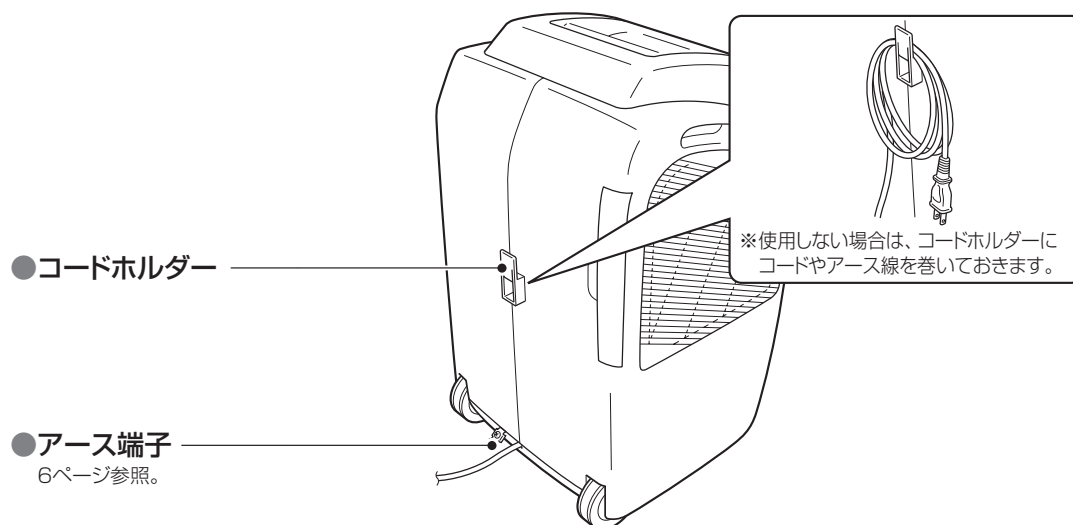
【前 面】



本体を移動する際のご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷つく場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。
また、キャスターは前後にしか動きませんので、ご注意ください。

【背 面】



操作パネルのはたらき

湿度表示ランプ

除湿モード時、点灯します。
運転中、**④** ボタンを押すと点滅し、現在の湿度がディスプレイに表示されます。

室温表示ランプ

運転中、**⑤** ボタンを押すと現在の湿度がディスプレイに表示された後、現在の室温がディスプレイに表示された時点滅します。

湿度／室温表示ボタン

運転中に現在の湿度と室温を約3秒ずつディスプレイに表示させます。

－(マイナス)ボタン

除湿モード時：
設定湿度が下がります
(5%ごと最低30%まで)。
タイマー設定時：
設定時間が短くなります
(1時間ごと最短1時間まで)。

MAX(強)ランプ

除湿モード／送風モード
運転中、風量レベルが
MAX(強)の時、点灯
します。

MIN(弱)ランプ

除湿モード／送風モード運
転中、風量レベルがMIN(弱)
の時、点灯します。

風量レベルボタン

除湿モード／送風モード時に、
風量レベルをMAX(強)、また
はMIN(弱)に切り替えます。

快適モードボタン

除湿モード／送風モードから、快適
モードに切り替えます(快適モード時、快
適モードランプが点灯します)。
また、快適モード運転時、**⑥** ボタンを
押すと、除湿／送風モードに切り替わ
ります。

ディスプレイ

右ページ参照。

タイマーランプ (OFFタイマー)

タイマー運転時、点灯します。

タイマーボタン (OFFタイマー)

タイマー運転を作動します。タイ
マー運転時、**⑦** ボタンを押すと現
在のタイマー設定時間(あと何時
間運転するか)が約3秒間ディス
プレイに表示されます。

電源スイッチボタン

電源の入／切をします。

＋(プラス)ボタン

除湿モード時：
設定湿度が上がります(5
%ごと最高80%まで)。
タイマー設定時：
設定時間が長くなります
(1時間ごと最長24時
間まで)。

除湿モードランプ

除湿モード時、点灯し
ます。

送風モードランプ

送風モード時、点灯し
ます。

運転セレクトボタン

除湿モード、または送風モード
に切り替えます。

快適モードランプ

快適モード時、点灯します。

除湿モード—— お部屋の空気中の水分をとります。

送風モード—— 送風口から風が出ます。

快適モード—— お部屋の温度に応じて、空気中の水分を調整して、快適な湿度を保ちます
(8ページ参照)。

ディスプレイについて

ディスプレイ上に表示されるアルファベットや記号は以下のような意味を持ちます。

表 示	解 説
	電源プラグをコンセントに差し込むと3秒間表示されます。
	本体がスタンバイモードであることを表示します (電源プラグをコンセントに差し込んだ状態)。
	快適モードで運転しています。
	タンクが取り付けられていない、正しく設置されていない、またはタンクが満水(5.0L) 状態であることを示しています。
	現在の室温が非常に低いことを示しています。除湿モードと送風モードを交互にくりかえし運転させ、霜ができないように作動します。
	送風モードで運転しています。
	現在の湿度が低い状態(目安30%以下)を示しています。湿度が低いため、除湿運転は停止します。あるいは、湿度・温度を測るためのセンサーが故障しています。

ご使用になる前に

⚠ 注意 輸送後の運転 輸送された後は、運転させる前に必ず 1 時間以上おいてください。

アース線（付属品）の取付けについて

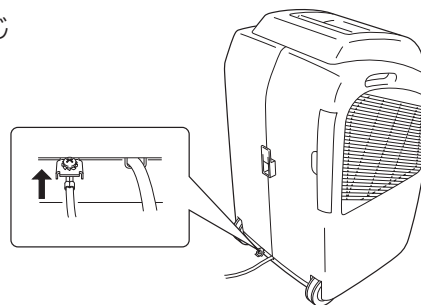
アース線についている端子を本体底部（背面）のアース端子にねじ止めをしてください。

- ① プラスドライバーで本体アース端子についているねじをはずす
- ② アース端子の穴と本体アース端子の穴を合わせる
- ③ ねじ止めをする

端子



アース線



本機は…

- ・ 冷房能力はありません。むしろ運転中は熱を発生させるので、室温が上がります。
- ・ 室温が 5℃ 以下では除湿しません。
- ・ 工場で稼働試験をしてから出荷されています。そのため、タンクに水跡が残っている場合がありますが、ご了承ください。

操作手順

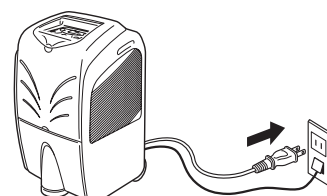
⚠ 注意 輸送後の運転 輸送された後は、運転させる前に必ず 1 時間以上おいてください。

運転を開始する

1 アース線を取り付けた後、電源プラグをコンセントに差し込む

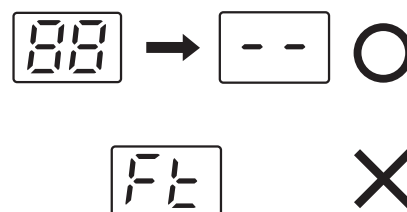
電源プラグを壁面コンセントに差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。
また、電源コードは、束ねずに伸ばした状態でご使用ください。

ⓧ 延長コードは使用しないでください。



2 ディスプレイの表示を確認する

ディスプレイに約 3 秒間「88」と表示されたあと「--」と表示されます。
もし「Ft」と表示された場合はタンクが取り付けられていない、タンクが正しく設置されていない、または満水 (5.0L) の状態なので、タンクをご確認ください。



3 電源を入れる

ⓧ 電源スイッチボタンを押します。

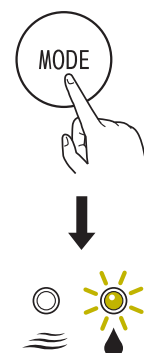


運転モードの選択

除湿モードで運転

- ① ⑧ 運転セレクトボタンを押して、除湿モードに設定します（快適モードに設定されている場合は ⑨ 快適モードボタンを押してから、⑧ 運転セレクトボタンを押して、除湿モードに切り替えてください）。

- 電源を入れ、3 分ぐらい経ってからコンプレッサーが動作しはじめます。
- 湿度設定よりも周辺湿度が低いと動作しません。



除湿モードランプが点灯します。

ヒント 現在の湿度と室温を確認するには…

運転中に現在の湿度や室温を確認するには、⑩ 湿度／室温表示ボタンを押します。ディスプレイに現在の湿度／室温が約 3 秒間ずつ表示されます。



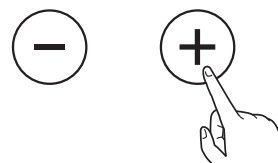
- ② ディスプレイに現在の設定湿度が表示されます。



- ③  風量レベルボタンで、好みの風量（MAX：強、または MIN：弱）に設定します。
MAX ランプあるいは MIN ランプが点灯します。

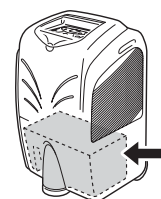


- ④ （プラス）ボタンと （マイナス）ボタンで好みの湿度に設定します。（プラス）ボタンを押すと、5%ごとに設定湿度が上がり（最高 80%まで）、（マイナス）ボタンを押すと、設定湿度が 5%ずつ下がります（最低 30%）。



お部屋の湿度が設定湿度より低い状態の時は運転が止まります。

- ⑤ 除湿された空気的水分は、タンクの中にたまります。タンクが満水（5.0L）になると、自動的に運転は停止しディスプレイには「」と表示されます。除湿運転を続ける場合は、タンクを取り出し、タンクの水を排出し、再度タンクを取り付けてください。空のタンクを取り付けると再度運転を開始します。



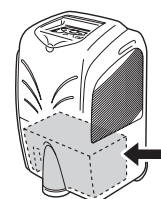
快適モードで運転

- ①  快適モードボタンを押して、快適モードに設定します。ディスプレイに「」と表示され、快適モードランプが点灯します。
お部屋の温度に応じて空気中の水分を調整して、快適な湿度を保つように運転します。お部屋の湿度が快適な状態の時は運転が止まります（下記参照）。



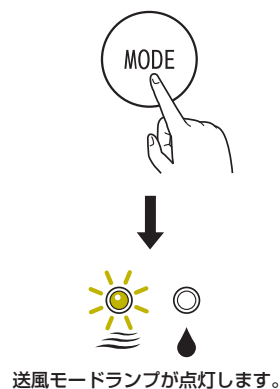
室 温	湿度の目安
33℃以上	30%
30℃	40%
27℃	50%
24℃以下	60%

- ② 除湿された空気的水分は、タンクの中にたまります。タンクが満水（5.0L）になると、自動的に運転は停止しディスプレイには「」と表示されます。除湿運転を続ける場合は、タンクを取り出し、タンクの水を排出し、再度タンクを取り付けてください。空のタンクを取り付けると再度運転を開始します。



送風モードで運転

- 1  運転セレクトボタンを押して送風モードに設定します。

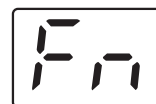


ヒント 快適モードから除湿／送風モードへもどすには…

運転を快適モードから除湿／送風モードにもどすには、もう一度  快適モードボタンを押します。その後  運転セレクトボタンを押して、除湿／送風モードを切り替えます。



- 2 ディスプレイに「Fn」と表示されます。
送風口から、風が出てきます。
※送風モードでは除湿運転はできません。



- 3  風量レベルボタンで、好みの風量（MAX：強、または MIN：弱）に設定します。
MAX ランプあるいは MIN ランプが点灯します。

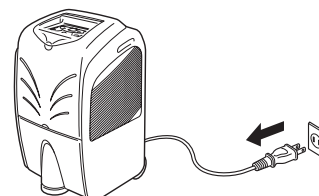


運転を停止する

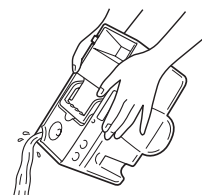
- 1 **電源を切る**
 電源スイッチボタンを押します。



- 2 **電源プラグを抜く**
運転が停止したら、電源プラグをコンセントから抜きます。



- 3 **タンク内の水を排出する**
タンク内の水を排出します。排水についての詳細は、11 ページを参照してください。



タイマーの使い方

24 時間まで設定できるタイマーです。1 時間単位で、何時間後に運転を停止するか予約できます。

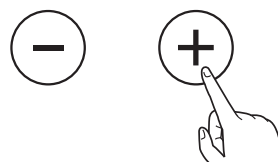
- 1 タイマー運転に設定する**
本体運転中（除湿モード・快適モード・送風モード）に  タイマーボタンを押します。



- 2 ディスプレイの表示を確認する**
ディスプレイに「--」と点滅表示されます。



- 3 何時間後に運転を停止するかを設定する**
ディスプレイに「--」と点滅しているうち（約 3 秒間）に、（プラス）ボタンと（マイナス）ボタンで好みのタイマー時間（運転停止時間）を設定します。（プラス）ボタンと（マイナス）ボタンを押すことにより、1 時間単位で 1 ～ 24 時間のタイマーを設定します。設定後、タイマーランプが点灯します。

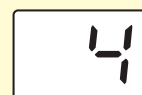


ヒント 現在のタイマー設定時間があると何時間かを確認するには…

- 1**  タイマーボタンを押します。



- 2** ディスプレイに現在のタイマー設定時間が約 3 秒間点滅表示されます。右の図は 4 時間後に運転を停止するという表示です。



ヒント タイマー予約をキャンセルするには…

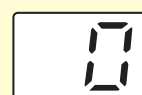
- 1**  タイマーボタンを押します。



- 2** （マイナス）ボタンを設定時間が「0」になるまで押し続けます。



- 3** ディスプレイに「0」と点滅表示され、タイマーがキャンセルされます。キャンセル後、タイマーランプが消灯します。



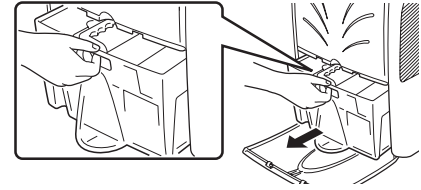
排水のしかた

タンクが満水（5.0L）になると自動的に運転が止まり、ディスプレイに「Ft」と表示されます。

1

タンクを取り出す

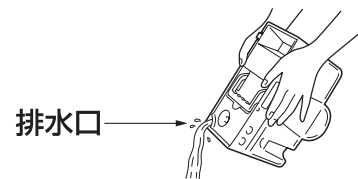
扉を開けて、タンクを取り出します。



2

タンク内の水を排水する

水をタンクの排水口から排出してください。



故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源スイッチボタンを押しても作動しない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	設定湿度が部屋の湿度より高い	湿度 / 室温表示ボタンを押して部屋の湿度を確認してください。部屋の湿度より湿度設定を低くしてください（部屋の湿度 30%以下の場合は作動しません）。
ディスプレイに「Ft」と表示され、作動しない	タンクが入っていない	タンクを設置します。
	タンクが満水（5.0L）である	タンクの水を排出し、再度設置します。
	タンクの位置が正しくない	タンクを正しい位置に設置します。
除湿モードで運転しているのに湿度が下がらない	お部屋の中に湿度のもとが多すぎる（湯沸かしポット等）	除湿モードの設定湿度を低くして、お部屋の中にある湿度のもとを少なくします。
	フィルターが詰まっている	フィルターを清掃します。
	除湿モードの設定に対してお部屋の湿度が低い	除湿モードの設定湿度を下げます。
再スタートさせてから作動しない	安全装置（過熱防止装置）が作動している	電源を切り、3 分以上経った後、また運転を開始します。
ディスプレイに「Gf」と表示されている	お部屋の温度が低すぎる	本機は 5℃ 以下では除湿しませんので、お部屋の温度を上げてください。
ディスプレイに「Pf」と表示されている	お部屋の湿度が低すぎる	本機は湿度 30% 以下では除湿しません。周辺湿度が上がると表示が消えます。
	湿度、温度を測るためのセンサーが故障している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ）にご連絡ください。

お手入れ／保管のしかた

使用頻度や汚れ具合にもよりますが、下記の要領でお手入れをしてください。保管および収納する際は、各事項をお守りください。

お手入れのしかた

⚠ 注意

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

水洗いできます

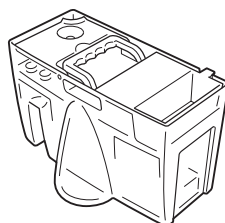
タンク

- ・タンクのふたは外れませんので、水でよくすすいで、乾燥させてから保管／収納してください。

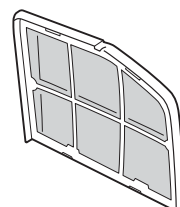
フィルター

- ・週に1回は、掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。
- ・汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯で水洗いし、完全に乾いてから本体に取り付けてください（フィルターを水洗いする際は、40℃以上のお湯は使わないでください）。

タンク



フィルター



水洗いできません

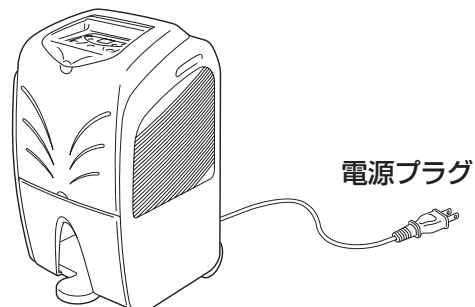
本 体

- ・乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・落ちにくい汚れは、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。
- ・電源プラグの栓刃についたホコリは定期的に取り除いてください。

⚠ 注意

水をかけたり、水にひたしたりしないでください。

本体

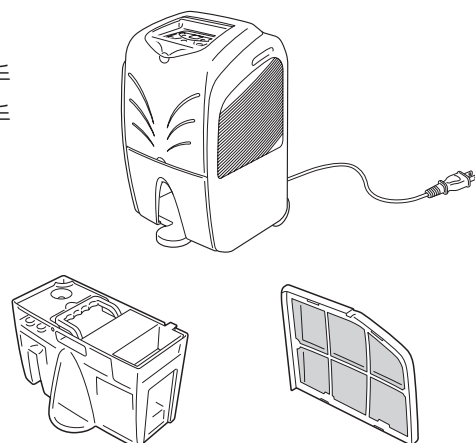


電源プラグ

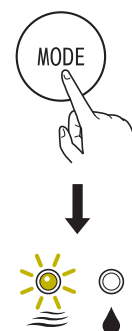
保管／収納のしかた

長期間お使いにならない場合は――

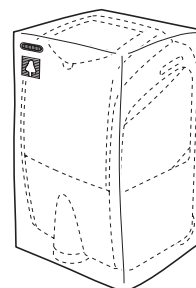
- ① 電源プラグをコンセントから抜いた後、上記のお手入れを参考にし、タンク、フィルター、本体のお手入れをします。



- ② 再度電源プラグをコンセントに差し込み、本体内部を乾燥させるため、 運転セレクトボタンを押して送風モードに設定し、約 2 時間ほど運転します。

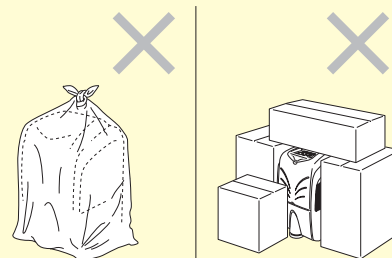


- ③ 電源スイッチボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いた後、アース線ははずしてください。
デロンギ・エコカバーを被せ、風通しの良い場所に保管します。



⚠ 注意

保管するときは、通気性の悪いカバーを掛けたり、押し入れや物置などの密閉した場所に置かないでください。



デロンギ・エコカバーの使い方

- 1) ホコリよけのカバーとして：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

- 2) ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として：デロンギエコ除湿機

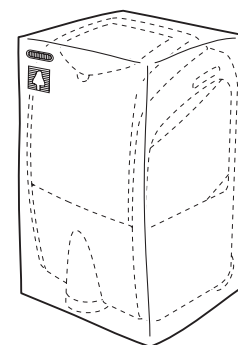


には、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりませんが、プロパンガス（可燃性冷媒）を使用しているため自治体によっては、ご不用になった除湿機を引き取らない場合があります。

その際は、下記の要領に従い、**弊社サービスセンター（14 ページ）**までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ ご不用になったデロンギエコ除湿機は、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、**必ず「再資源化」と明記してください。**



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿 100%で出来ています。

真心点検について

長年ご使用の除湿機は、点検をお薦めします。



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預り）をお薦めします。
点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

アフターサービス

- 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電源スイッチボタンで電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

-----★以下のような場合には、点検および修理が必要です-----

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・操作パネルや本体に、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

- 保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

●コールセンター

修理について Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

お問い合わせ Tel.0120-064-300

Tel.0120-692-880

／ Fax.045-450-3291

- 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫（株）内 4 号ビル
- 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田 2-21-25

ホームページでのお問い合わせ（URL）—— <http://www.delonghi.co.jp>

仕 様

製 品 名 称	デロンギ エコ除湿機	
型 式 番 号	DE250ECO	
定 格	電 圧 / 周 波 数	交流 100V 50/60Hz
	消 費 電 力	390 / 420W (50/60Hz)
除 湿 能 力 (目 安)	1 日当たり 10.0 / 10.8L (50/60Hz)	
適 用 畳 数 (目 安)	和室 : 2 畳半 ~ 18 畳、洋室 : 2 畳半 ~ 25 畳	
外 形 寸 法 / 質 量	幅 36.5 × 奥行 37.5 × 高さ 61cm / 20kg	
タ ン ク 容 量	5.0L	
電 源 コ ー ド の 長 さ	1.5 m	
冷 媒	R290 (プロパンガス)	
付 属 品	アース線、デロンギ・エコカバー	

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載！デロンギフォーラム無料会員募集中！

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>**DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321 (代)



再生紙を使用しています。